

国語科学習指導案

指導者 美木中学校 岡田 真志

- 1 日 時 令和2年10月26日(月) 6校時 15:00～15:50
- 2 場 所 2年2組教室
- 3 学年・学級 第2学年2組 男子11名 女子11名 計22名
- 4 単 元 名 君は「最後の晚餐」を知っているか
- 5 単元について

【単元観】

本単元は、中学校学習指導要領国語の第2学年「書くこと」の指導事項「ウ根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」を受けて設定したものである。説明や具体例を加えるとは、説得力を増すために、考えや意見の根拠となることを具体的に記述することとある。

本文では、筆者が評論の対象として「最後の晚餐」を専門家の立場から分析したものである。読み手への語り方が、問いかけの口調で立て続けに用いられ、話の展開が分かりやすい文章で読み手に伝えられている。「最後の晚餐」の分析においては、科学的な工夫や分析を具体的にしている。「解剖学」「遠近法」「明暗法」という美術の技法を用いた説明で「かつこいい」と感じさせる具体例を加えることで、考えや意見の根拠を示している。

単元を貫く言語活動として、昨年度の美術の授業で創作した芸術祭の作品を鑑賞して、評論文を書く活動を行う。本文の筆者が自分の考えを伝えるための工夫について学び、それが自分の評論や他教科での学びにどのように生かすことが出来るかを、実感することが出来る単元であると考えられる。

【生徒観】

生徒は落ち着いた雰囲気の中で授業に臨み、授業での発問や問われていることに対して真剣に取り組むことが出来る。しかし、自分の考えを言葉で表現したり、書いてまとめたりすることに課題がある。昨年度から「書くこと」における指導を継続的に行っており、二学期に実施した中間試験において作文の問題への解答率は100%であった。しかし、完全正答率は44人中3人であった。昨年度の3学期の学力診断問題においても、作文での解答率が100%であったにも関わらず完全正答率が0%であり、「書く」力の課題が見られる。

【指導観】

本校の生徒の課題の一つとして、構成を意識して文章を書いたり、内容を深めて書いたりすることが挙げられる。書くことの指導事項は、「課題設定や取材」、「構成」、「記述」、「推敲」、「交流」で構成されている。生徒の課題の中でも、特に「構成」を考えることへの意識をもたせるため、説明や具体例を明確に示させる必要があると考える。説得力を増すためには、考えや意見の根拠となる内容を具体的に記述する必要があるが、書く内容が思い浮かばないことが想定される。生徒に記述をさせる前に、作品にはどのような印象を抱かせるのかを抽象的に考えさせ、その後、どのような技法やどのような表現方法が、そのような効果を生んでいるのかについて、美術の資料集や作者本人の工夫点を見ながら具体的に考えさせる。

6 本単元でつきたい資質・能力

学校として育成を目指す資質・能力は、①課題を解決する力 ②学ぶ力 ③人とつながる力 ④未来を創る力の4つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は以下の3つである。

【①課題を解決する力】

課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。

【②学ぶ力】

新しく学んだ内容を、既習事項や他教科、他領域とつなげることができる。

【③人とつながる力】

相手の話す内容を受け止め、自分の意思を相手にわかりやすく伝えることができる。

7 単元の目標

- (1) 事象や行為を表す語句や、概念を表す語句などを文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。【知識及び技能】
- (2) 説明や具体例を用いて自分の考えが伝わる文章が書ける。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 表現方法や作文を読み返す作業を通して、考えたことや感じたことをよりよく表現してこれからの書き方に生かそうとする。【学びに向かう力、人間性等】

8 単元の評価規準

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
○本文や資料集を参考に事象や行為を表す語句などを文章の中で使うことを通して豊かに表現している。	○「書くこと」において伝えたいことが分かりやすく伝わるように、本文を参考にして具体例を明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○自分が考えたことや感じたことを、観点を立てるなどの工夫を通して表現しようとしている。

9 指導と評価の計画（全6時間）

次	時	学習活動	生徒の思考の流れ	◇評価規準（評価方法） ★資質・能力の評価（評価方法）
1	1	○本文を通読し、初めて知ったことや興味を持ったところなどをまとめる。 ○意味調べをして言葉の理解を深める。	「最後の晚餐」について名前を聞いたことがあるけど、初めて見た。 「かっこいい」と思った理由は何だろう。	◇①事象や行為を表す語句についてまとめている。 (ワーク) ◇③本文で考えたことや感じたことを書いている。 (振り返りシート)

	2	<p>○論じられている事柄や順序など、筆者の絵画の読み解き方を大まかにとらえる。</p> <p>○序論・本論・結論の要点を捉える。</p>	<p>説明的文章だから説得力を持たせる工夫があるはずだ。</p> <p>観点を立ててまとめているな。</p>	<p>◇②筆者の文章の構成について理解してまとめている。(ワークシート)</p>
	3	<p>○筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい。」と思った理由を、根拠を明確にして思考ツールにまとめる。</p>	<p>筆者は三つの技法に注目してまとめているな。</p> <p>自分が文章をまとめるときも思考ツールが使えるのかな。</p>	<p>◇②観点を明確にし、文章の構成を工夫して書いている。(ワークシート)</p>
2	<p>4</p> <p>本時</p>	<p>○評論文を書く視点について考え、筆者がどのような構成でまとめているか振り返る。</p> <p>○友達の作品を評論するならどのような内容が必要か考える。</p>	<p>評論文に必要な情報って何だろう。</p> <p>自分にとって好きか嫌いかなではなく、客観的な情報が必要なんだな。</p> <p>良さの根拠ってどんなことだろう。</p>	<p>◇②作者の工夫点を明確にして、教科書を参考に評論文のためメモを書いている。(ワークシート)</p> <p>◇③自分が考えたことや感じたことを、観点を立てるなどの工夫を通して表現しようとしている。(ワークシート)</p> <p>★①課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。(ワークシート)</p> <p>★②美術の授業で学んだ技法等とつなげて考えることができる。(ワークシート)(振り返りシート)</p>
	5	<p>○自分が評論文を書くならどのような構成にするか考える。</p> <p>○評論文を書く。</p>	<p>双括型で評論文を書けばわかりやすくまとめられそう。</p> <p>本論では前回まとめた筆者の工夫点を入れよう。</p>	<p>◇②観点を明確にし、文章の構成を工夫して書いている。(ワークシート)</p>
	6	<p>○お互いに読み合って推敲する。</p>	<p>誤字脱字があるな。</p> <p>人によって印象が違うな。</p> <p>本論で自分の考えの根拠がきちんと示されているな。</p>	<p>★③相手の記述を受け止め、自分の意思を相手にわかりやすく伝えようとしている。(ワークシート)</p>

10 単元・内容の関連

- 学習単元の系統（学習内容の関連）

小高学年

- 課題解決のために、意見文や解説文を利用する。
- 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む。

中第2学年【評論】

評論を読む。「君は『最後の晚餐』を知っているか」

11 学力向上推進地域事業との関連

「書くこと」の活動において各教科をつなぐ工夫について考えた。学習意欲を高めるために、国語科の指導が他教科に生きるという実感を持たせ、表現するための「書く」力を付ける事に向けて学習意欲を高めさせたい。調査問題から明らかになった課題の1つとして、日常生活における問題を解決する力が必要とある。そのために、生徒らの作品を評論するという場面を設定して考えの軸となる観点を明らかにさせて書く活動を行わせる。

12 本時の展開

- (1) 本時の目標 伝えたいことを明確にした評論文を書くために必要なことを理解させる。
- (2) 準備物 テレビ、パソコン、ワークシート、振り返りシート、美術の資料集
- (3) 振り返りの充実を図る手立て
次回以降、評論文やこれからの生活において、大切にしたいことは何か記述させる。

(4) 学習の展開 (4時間目/全6時間)

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆支援を要する生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法) ◇教科の指導事項 ★資質・能力
<p>1 スクリーンに掲示されたものについて自由に良し悪しを話し合う。【3分】</p> <p>2 本時のめあてを確認する。【2分】</p>	<p>◇ただ好き嫌いでは評論にならないことを押さえさせる。</p> <p>◆スクリーンで掲示して視覚的に示す。</p>	
<p>めあて：評論文を書くために、必要なことについて考えよう。</p>		
<p>3 「最後の晚餐」はどのように評論されていたか振り返る。【10分】</p> <p>4 教師が作成した、説明や具体例のない「最後の晚餐」の評論文を読み、評論文に必要なことを考える。【10分】</p> <p>5 友達の美術の授業で作った作品を見て、工夫点や魅力について個人で考える。【5分】</p> <p>6 作品を見て個人で考えたことをグループで話し合い、全体で共有する。【15分】</p>	<p>◇最後の晚餐の「かっこいいところ」はどんなところだと筆者は述べているのか思い起こさせる。</p> <p>◆前時のワークシートを振り返りながらスライドで示す。</p> <p>◇評論文には「良し悪しの根拠」が必要なことを気付かせる。</p> <p>◆文字数が重要なわけではないことを確認させる。</p> <p>予想される生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分量がいるのでは。 ・すっきりしていて良い。 ・どこが「かっこいい」と感じるのかの説明がいるのでは。 <p>◇既習事項である美術の資料集 P24～27 を参考にしながら、作品の良さを元に評論文を書く視点について考えさせる。</p> <p>◆既習事項と作品を結びつけるために、作者の工夫点や美術科の教員から見た評価されるべき点をヒントカードとして配る。</p> <p>◆前時の「最後の晚餐」を「かっこいい」と感じた根拠を思考ツールにまとめたことを振り返らせ、個人やグループでまとめる際も同じ思考ツールを使って考えさせる。</p>	<p>◇②作者の工夫点を明確にして、教科書を参考に評論文に向けてのメモを書いている。(ワークシート)</p> <p>★①課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。(ワークシート)</p> <p>★②美術の授業で学んだ技法等とつなげて考えることができる。(ワークシート)</p>

<p>7 振り返り【5分】</p> <p>この時間に分かったことや次回に向けて感じたことを振り返りシートに記入する。</p>	<p>◇◆次回評論文を書くにあたってどのようなことを取り入れていきたいか、どのような書き方をしたいのかという視点でまとめさせる。</p>	<p>◇③自分が考えたことや感じたことを、観点を立てるなどの工夫を通して表現しようとしている。(ワークシート)</p> <p>★②新しく学んだ内容を、既習事項や美術科での学びとつなげることができる。(振り返りシート)</p>
--	--	--

<p>A評価</p>	<p>「最後の晚餐」の魅力として「解剖学」「明暗法」「遠近法」が「かっこいい」という理由として挙げられていた。私は友達の作品を「〇〇」と思ったので、その良さの根拠を作者が使った「〇〇」という表現技法を取り上げてまとめたい。</p>
<p>B評価</p>	<p>「最後の晚餐」の評論文のように、作品における具体的な工夫や魅力などの良さの根拠を明確にして評論文を書こうと思った。今日見つけた作品の工夫や魅力をもとに、自分の考えが伝わる文章になるように工夫していきたい。</p>
<p>C評価</p>	<p>評論文の書き方が分かった。次回は実際に書いてみるので頑張って書きたい。</p>

13 板書計画

